

部活応援隊が行く!!

菰野高等学校 書道部

一筆一筆に思いを込めて、集中して書に取り組む

「みえ高文祭」や「生徒教員展」への出品のほか、菰野町で開催される「ふれあいまつり」で書道パフォーマンスをするなど、地域にも積極的に関わりをもつ菰野高等学校書道部。3年生を含む6人で活動し、集中して作品に向き合っています。

Q1 部活動、書道の魅力は？

A1 (伊藤さん) 字を崩しているような行書などが好きで、自分の好きな書き方に変えたりと、書いている時間が結構好きです。

2年生
伊藤 彩織さん
(いとう さおり)

められ
たりす
ると、
「頑張ったな」と感じます。

Q2 心に残っている出来事は？

A2 伊藤さん文化祭や菰野町の「ふれあいまつり」でのパフォーマンスをみんなで見える時間が好きです。今年のパフォーマンスは、字が少し変になってしまったかなと感じましたが、周囲から上手だと言われたので、なんとか思ったように思います。

顧問
田川 鈴菜先生

なと感
たが、
上手だ
言われ
で、な
なっ
思



Q3 現在の目標は？

A3 (伊藤さん) 「書けなかったからいいや」と諦めてしまいうのではなく、最後まで集中して書いていきたいです。
(田川先生) 少なくとも「みえ高文祭」と「生徒教員展」には出品したいと考えています。あとは、同じ書体だけを書くのではなく、色々な書体にチャレンジしてほしいです。

二次元コードを読み取ると書道部のコメントが見られます。



Q4 部活動を通して生徒に学んでほしいことは？

A4 (田川先生) 1年生の頃には大型の作品だと途中で集中力が途切れてやめてしまう子もいたんですが、2、3年生になってくると集中して何枚も何枚も繰り返し書けるようになってきます。部活動を通じて生徒には書く上で必要な集中力を養ってほしいというところ、書道が廃れていく傾向にあるので、「書」を愛好する心を養ってほしいなと思っています。



Q5 部員の強みは？

A5 田川先生 普段はそれぞれに作品を書いているので、個人で活動しているように思えるのですが、イベントなどでのパフォーマンスではチーム一丸となって取り組みます。周囲を見ることができ、周りが多いと思います。

Q6 部の課題は？

A6 (田川先生) 作品の自己分析が足りないうところ。書いている時は改善すべきところを覚えていくのですが、忘れてしまいうところもあり、また、後から見返したときにわかるように、メモ書きするなどして次に生かしてほしいです。

